

原料費調整（スライド）制度に基づく2021年12月のガス料金について

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。日頃は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて弊社では、原料費調整制度に基づいた都市ガス従量料金単価の調整を、下記のとおりとさせていただきます。

敬具

記

- 「原料費調整（スライド）制度」に基づき、2022年1月検針分に適用される従量料金単価を、2021年12月検針分に適用される従量料金単価に対し、1 m³あたり+3円70銭（税込）調整させていただきます。
- 標準家庭（1か月のご使用量が21 m³）の場合、ガス料金は月額5,866円（税込）となり、77円（1.33%）お支払額が増加します。

※ 原料費調整（スライド）制度は、都市ガスの原料となるLNG、プロパンの価格変動に対応して、従量料金単価（1 m³あたりの単価）を、毎月見直す制度です。

今回の料金の算定基準となる2021年8月～2021年10月のLNG、プロパンの平均原料価格を2021年8月～9月の貿易統計確報値および2021年10月の貿易統計速報値を基に算定しますと、平均原料価格は62,870円/t となります。2021年12月検針分のガス料金調整額を算定した2021年7月～2021年9月の実績平均原料価格に比べ、今回の調整額の算定基準となる2021年8月～2021年10月の実績平均原料価格は、トンあたり4,070円上昇することになり、料金調整は上記のとおりとなります。

●2022年1月検針分に適用されるガス小売供給約款料金（消費税等相当額を含みます。）

2021年12月検針分の従量料金単価に対して、+3.70円の調整となります。

料金表	1か月の 使用量	基本料金 (1か月あたり)	従量料金単価 (1 m ³ あたり)	
			2022年1月	2021年12月
A	0 m ³ から 10 m ³ まで	976.80 円	265.16 円	261.46 円
B	10 m ³ を超え 170 m ³ まで	1,593.46 円	203.49 円	199.79 円
C	170 m ³ を超え 500 m ³ まで	4,690.18 円	185.27 円	181.57 円
D	500 m ³ を超える	10,674.18 円	173.31 円	169.61 円

※基本料金は変わりません。

※基本料金、従量料金単価とも消費税等相当額を含んでいます。

●2022年1月検針分 お客さまへの影響額

標準家庭（1か月のご使用量が21 m³）の場合

2022年1月適用料金 (a)	2021年12月適用料金 (b)	増減(c) (a) - (b)	増減率 (c) / (b)
5,866 円	5,789 円	+77 円	+1.33%

1. 上記の料金は、いずれも消費税等相当額を含む1か月の料金です。

2. 「標準家庭」のガス使用量は日本海ガスの家庭用のお客さまの2016年～2020年の月平均使用量です。

●平均原料価格（円/t）および従量料金単価調整額（円/m³）

	2021.8～2021.10	2021.7～2021.9	基準平均原料価格
LNG平均輸入価格(貿易統計値)	61,940	58,000	42,480
プロパン平均輸入価格(貿易統計値)	80,200	73,360	39,600
平均原料価格(LNG換算)	62,870	58,800	42,520

■2021年8月～2021年10月の平均原料価格の算定

$$\begin{aligned}
 \text{平均原料価格} &= \text{LNG平均輸入価格} \times 0.9645 + \text{プロパン平均輸入価格} \times 0.0390 \text{ (10円未満四捨五入)} \\
 &= 61,940 \text{ 円/t} \times 0.9645 + 80,200 \text{ 円/t} \times 0.0390 \\
 &= 62,868.93 \text{ 円/t (10円未満四捨五入)} \\
 &= \underline{62,870 \text{ 円/t}}
 \end{aligned}$$

■原料価格変動額の算定

$$\begin{aligned}
 \text{原料価格変動額} &= \text{平均原料価格} - \text{基準平均原料価格} \\
 &= 62,870 \text{ 円/t} - 42,520 \text{ 円/t} \\
 &= 20,350 \text{ 円/t (100円未満切捨て)} \\
 &= \underline{20,300 \text{ 円/t}}
 \end{aligned}$$

■従量料金単価調整額(1 m³あたり)の算定

$$\begin{aligned}
 \text{従量料金単価調整額} &= \text{原料価格変動額} / 100 \text{ 円} \times 0.082 \times (1 + \text{消費税}) \\
 &= 20,300 \text{ 円} / 100 \text{ 円} \times 0.082 \times 1.10 \\
 &= 18.3106 \\
 &= \underline{18.31 \text{ 円/m}^3}
 \end{aligned}$$

※原料価格変動額100円につき従量料金単価を0.0902(0.082×1.1)円調整します。

※調整額がプラスの時は少数点第3位以下を切捨て、マイナスの時は少数点第3位以下を切上げます。

	2022年1月	2021年12月	増減
調整額 (円/m ³ ・税込)	+18.31	+14.61	+3.70